

# 美杉山荘 建設プロジェクト

大阪工業技術専門学校

## 外壁ラスモルタル工事

外壁はモルタルで下塗りをし、漆喰で仕上げます。モルタルの付着をよくする為に“ラス”と呼ばれる金属網を大型のホッチキス(タッカー)で留めてから塗り始めます。このような水で練った材料をコテで塗る作業が左官工事です。手間と時間がかかる作業で、最近の工事現場ではあまり見られなくなっていますが、材料の配合や塗り方によって変幻自在に風合いや質感が操作できる、大変奥の深い工法です。今回は新入生が主体に外壁を仕上げる予定ですが、まずはコテさばきの練習と材料の練り方からです。

軽量骨材(発泡スチロールの粉のようなもの)とセメントを空わせし水を加えてから練ります。微妙な水加減は感覚で覚えるしかありません。



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫団地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ



菱型の網がラス、タッカーでしっかりと壁に固定します。



練ったモルタルをコテ板の上で操る事が出来ないと塗れません。割合早く格好がつかってきました。新入生イイゾ!



外壁は柱を露出した真壁です。柱で区切られた壁を一枚ずつ担当して、隣と見比べながら少しずつ進みます。また、左官仕事は、どうしても他の部分を汚してしまいますので、塗った後の清掃作業が大切です。真壁の場合の柱際(チリ)の部分が清掃のキモです。



朝の6時半から作業を始めて、午後3時には外壁全て塗り終わりました。壁が塗られると一気に建物らしく見えます。新入生6名の初仕事でした。

